

編集・発行

海老名市役所 市長室

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

\*この広報は再生紙を使用しています。

### 世帯と人口

6月1日現在・( )内対前月比

世帯 47,651 (+ 58)

人口 124,130人 (+ 63)

男 63,153人 (+ 40)

女 60,977人 (+ 23)

# 広報えびな

▶訓練に向かう消防団第6分団



5月29日の水防訓練では土のう作成も実施▶

## 地域に根差す防災の主役

大きな災害はいつ発生するか分かりません。万一発生した場合、災害救助に大いに役立つのは、地域の力。市の消防機関である消防団は、15の分団で組織され、消火活動など、地域の防災の中核を担う組織です。分団員は、自らの仕事の傍ら、最前線で活躍しています。今回は、消防分団の紹介です。



橋場 さん

「火災現場へ向かう車の中では頭の中が、かーっとなります」と話すのは、分団長会の分団所属10年目です。「これまで30回は出勤していると思います。何度行っても気持ちが高揚して、半ばパニック状態。だからこそ日ごろの訓練が大事」と話します。現場で冷静に行動できるようにするのは、つい最近のことだそうです。「訓練は、緊張感を持ってやらないと、本番で力を発揮できません。現場にいる気持ちにならなくて、大声を出してやっていきます。新しいメンバーには、『管鎗(ホースの先端に取り付けて保持する部分)を抱えるときは、左足を前にして、前傾姿勢。これは、水圧に耐えて確実に消火するため』など、動作の意味も伝えます。納得して動く、覚えるのが早いです。訓練というと、スパルタの苦しいばかりのイメージがあるようですが、それとは違いますね」。

活動は訓練、消火活動のほか、消火栓・防火水槽などの点検を月に1回、春・秋の火災予防運動や歳末特別警戒での夜間パトロール。地域の祭りに屋台を出し、団のPRもしています。目下の悩みは、昼間に出勤できる団員が少ないこと。「地元で働いている人が入ってくるとありがたいです」。分団員としての活動は、「仕事を持ちながら防災面のまちづくりに貢献している満足感があります。共に訓練する仲間がいるのも大きい。仕事とは一切関わりのない仲間だから、損得勘定抜きで付き合えるんです。そこで築かれた仲間意識が、消火活動の連携をスムーズにする。火災現場で大いに生かされていると思う」とやりがいと満ちた表情で語ります。そして「多くの人に消防団の仕事に携わってほしい。数年でも経験しておけば、大規模な災害が起きたときに対処できる力をつけられます」とも。「私たちのまちは私たちが守る」を実践しているという印象を強く受けました。

### 新規分団員 募集中です

消防分団では15分団・214人の分団員が活躍しています。現在、新規分団員を募集中です。お問い合わせは、近くの分団または消防総務課へ。

### 7月10日操法大会 ご観覧ください



また市では、各分団が日ごろの訓練成果を競う「海老名市操法大会」を次のとおり実施します。ぜひご覧ください。

▽日時 7月10日(日) 午前7時45分〜正午(雨天決行)  
▽会場 市役所西側催事広場。

問 消防総務課 ☎ 231・0355